

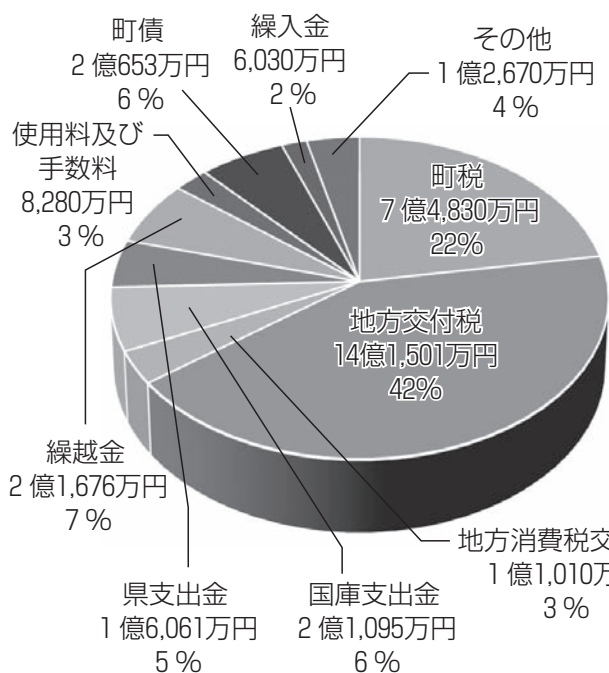
令和元年度 決算報告

地方自治法第233条第6項の規定により、令和元年度決算の概要を住民のみなさまにお知らせします。

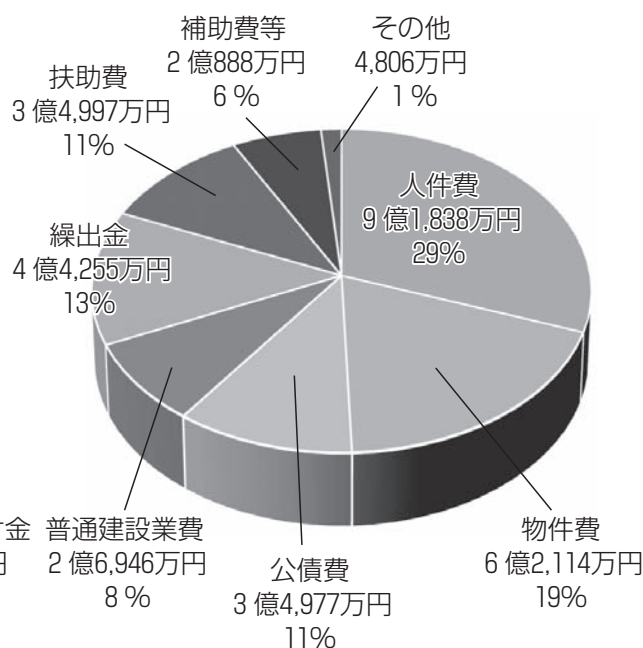
令和元年度 一般会計・特別会計決算

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引	備 考
一 般 会 計		33億3,806万円	32億 821万円	1 億2,985万円	翌年度へ繰越
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	9 億3,719万円	9 億5,958万円	△2,239万円	繰上充用金で補填
	住宅新築資金等貸付事業	99万円	2,679万円	△2,580万円	繰上充用金で補填
	下 水 道 事 業	2 億6,709万円	2 億6,709万円	0 万円	
	介護保険(保険事業勘定)	7 億2,524万円	6 億9,288万円	3,236万円	翌年度へ繰越
	後期高齢者医療	9,801万円	9,796万円	5 万円	翌年度へ繰越
合 計		53億6,658万円	52億5,251万円	1 億1,407万円	

一般会計歳入内訳



一般会計歳出内訳



基金内訳

区分	前年度末現在高	決算年度中増減額	決算年度末現在高
財政調整基金	7億2,485万円	▲5,944万円	6億6,541万円
減債基金	4億8,468万円	21万円	4億8,489万円
公営住宅管理運営基金	9,283万円	6万円	9,288万円
消防賞じゅつ金基金	3,641万円	2万円	3,643万円
地域福祉基金	6,580万円	0円	6,580万円
文化振興基金	3,050万円	0円	3,050万円
ふるさと基金	323万円	372万円	695万円
森林環境保全基金	0円	23万円	23万円
介護給付費準備基金	1,808万円	2,851万円	4,659万円
合計	14億5,637万円	3,275万円	14億2,968万円

町債内訳

区分	金額
一般会計	31億1,043万円
特別会計	21億7,444万円

町債とは

町が国などから借り入れる借入金であり、その行為を起債といいます。主に下水道事業等の長期に渡り、継続的に取り組んでいる事業に充当されます。

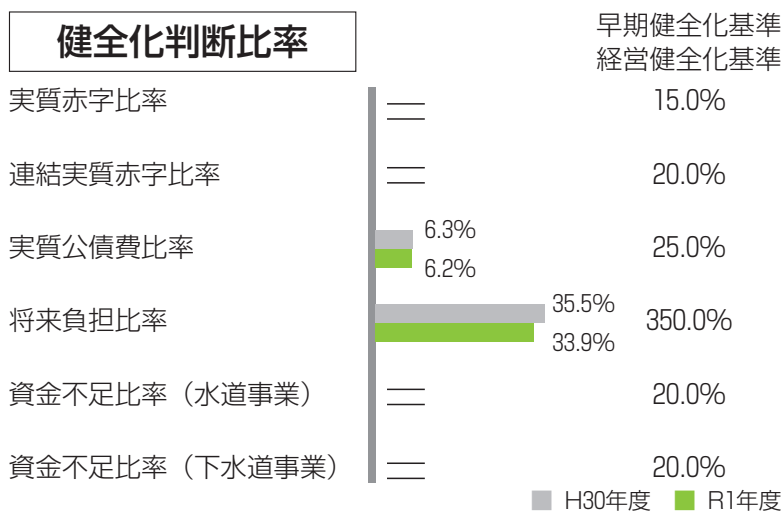
令和元年度における主な事業の状況

○こども園空調更新事業	455万円	○ごみ処理広域化に伴う総合委託業務	1,410万円
こども園大ホールの空調更新に係る経費		安堵町環境美化センター焼却施設の解体及び中継施設の整備等の計画に係る経費	
○カルチャーセンター空調等更新事業	800万円	○小中学校PC入替事業	333万円
カルチャーセンター作法室及び非常用電源の更新に係る経費		小中学校のPC教室のPC入替に係る経費	
○子ども子育て支援事業計画策定事業	288万円	○歴史文化・観光館（四弁花）整備事業（平成30年度からの繰越事業）	1億1,352万円
○観光パンフレット更新事業	141万円	歴史文化・観光館「四弁花」の建設等に係る経費	
○プレミアム付商品券発行事業	795万円		

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく財政健全化判断比率を公表します

安堵町の財政は令和元年度も各指標とも総務省の財政健全化基準を上回りませんでした。

早期健全化基準を上回ると早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、自主的に財政の早期健全化に向けた取組を行わなければなりません。



- ◆**実質赤字比率**……一般会計等に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの
- ◆**連結実質赤字比率**……全会計に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの
- ◆**実質公債費比率**……借入金（地方債）の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの
- ◆**将来負担比率**……借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの
- ◆**資金不足比率**……公営企業会計（上下水道事業等）の資金不足を事業規模である料金収入の規模と比較し、経営状態の悪化の度合いを示すもの